

古風より理出くかたのちを
新日う都
吉子後

新毎う名知をうん
ゆりあ
如測

ふとねうーもめた
日乃きしにうか
素白

何より人の中うもむ
磯色いの發
雲帯

正月を待たひも
梅のむ
とあ七

まらぬ也急れ駕鼻
ひあま
梅丈

古稀春
年津むや
年のうつら
本郎